

幼児から中学生まで1210人が筆を振るう

### 第64回太宰府天満宮七夕<sup>きごう</sup>揮毫大会で優勝



▲前列左から川端さん、石津さん、本松さん

書道上達の成果を発揮する第64回太宰府天満宮七夕揮毫大会が、8月1日から8月3日まで太宰府天満宮で開催されました。その結果、団体の中学生の部で津屋崎中学校が優勝、小学生の部では津屋崎小学校が3位になりました。また、津屋崎中学校3年生の川端麻椰さん、津屋崎小学校3年生の本松里佳子さん、4年生の石津志乃さんが特選1席を受賞しました。

川端さんは「小学校1年生で書道を始め、中学3年生の最後の大会で1席が取れてとてもうれしいです。お世話になった本松先生と両親に感謝しています」と話していました。

感謝の気持ちを込めて地域との触れ合い交流

### 津屋崎中学校卓球部と津屋崎ラージボールクラブが交流試合



▲生徒と触れ合い交流戦

8月24日、津屋崎中学校で、平均年齢73歳の津屋崎ラージボールクラブ20人と津屋崎中学校卓球部17人の交流試合が開催されました。

ほのぼのとした雰囲気の中での交流戦。ラージボールクラブのかたが生徒にスマッシュを教える場面や、中学生からはスマッシュが決まらず「ドンマイ、ドンマイ」と声も出ていました。

参加者は「子どもたちと交流ができ元気をもらった」「これからも中学生との交流を大切にしたい」と話していました。

犯人は現場に戻る

### ひき逃げ事故の犯人逮捕に貢献し感謝状

8月6日に佐賀県鹿島市内で発生したひき逃げ事故の犯人逮捕に貢献したとして、8月23日、中村清隆さん(東福岡3区)に鹿島警察署から感謝状が贈られました。

中村さんは鹿島市内を車で走行中に、前方の車が左折して正面から走ってきた自転車と衝突する瞬間を目撃。加害者の車はそのまま逃走したため、中村さんは車を降りて被害者のケアや駆け付けた警察官への状況説明に当たりました。そのさなか、事故を起こした車が再び現場近くを通り掛かったのに気づき、警察官に伝えて即逮捕に至りました。



▲鹿島警察署で感謝状を受け取る中村さん



▲形の演武を披露する児玉菜摘さん

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

# まちのわだい

〒811-3293(住所不要) ☎43-8113  
 福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行

鍛えた技と精神を競う

### 第56回小学校・中学校全国空手道選手権大会出場

8月3日から4日にかけて宮城県で開催された第56回小学生・中学生全国空手道選手権大会に、津屋崎中学校3年生の児玉菜摘さんが出場しました。

児玉さんは警察官になることを目標に、小学校4年生から空手を習い始めました。週に3回道場に通い、技を磨き、精神を鍛えています。

今回の大会には形の部、組手の部で出場し、惜しくも勝ち進むことはできませんでしたが、「応援してくれたかたがたに感謝しています。今回はあまりよい結果は残せなかったけれど、とてもよい経験になりました」と語っていました。

今後は高校生になっても空手を続けて、将来は空手の指導者になるのが夢だそうです。

## 市民広報ボランティア



### 緑町盆踊り大会

8月15日と16日に緑町公民館で盆踊り大会が開催されました。これは、江戸時代に福岡浦の大漁を祈って芦屋から役者の一座を招いていましたが、ある年、長雨で芝居ができず宿泊し、お世話になったお礼にと踊りを教えてくれたことが始まりです。2日間で420人以上が参加。フィナーレの「雉のめんどり」では、飛び入りや目を閉じて口ずさむかたもいて、思い思いに楽しんでいました。

「この盆踊りを残していきたい」と固い決意の保存会会長代行の広渡義文さん。祭りは余韻を残しつつ終演を迎えました。

【櫻井紀子】



### 第9回みやじ夏まつり

8月3日、宮司コミュニティセンターで第9回みやじ夏まつりが開催されました。

屋台では焼き鳥、かき氷、綿菓子、カレーなどが売られ、子どもたちもスーパーボールすくい、くじ引きの店を出し、どの出店も賑わいを見せていました。ステージでは三柱太鼓、フラダンス、園児のかわいい踊り、おやじバンドの演奏などが繰り広げられ、より一層盛り上げていました。

最後は炭坑節、津屋崎音頭、アンパンマン音頭などの盆踊りを踊って、盛況の中、夏まつりは終わりを迎えました。

【中山和恵】



### そば打ち実践

9月1日、原町公民館で「そば打ちの会」の皆さんがそば打ちに取り組みました。この会は、そば打ちに興味のある人が集まって発足した会で、現在20人の会員が月に1回のペースでそば打ちを実践しています。先生は大和1区の花田さんで、そば博士とも言われているかたです。

今回は「水車そば粉にて十割そばに挑戦」をテーマに取り組みました。十割そばは割れやすく、切れやすいので困難な作業ですが、先生の細かい指導で、皆さん立派に仕上げられました。

【山本武利】

みんな大好き!

# わが家の宝



とう まさと  
**(下)藤 雅人**ちゃん  
平成21年9月4日生

とう そうま  
**(上)藤 颯真**ちゃん  
平成23年10月18日生

宮司2区  
まさと4歳☆そうま2歳のお誕生日おめでとう♡  
とっても兄弟愛の強い2人!!  
これからも仲良く元気にたくましく!!育っていつてね♡



たなか ひな  
**(左)田中 英菜**ちゃん  
平成19年10月16日生

たなか いぶき  
**(右)田中 芽紀**ちゃん  
平成22年7月4日生

東福岡6区  
ひな、6歳の誕生日おめでとう。  
来年はいよいよ小学生ですね!!  
大好きな保育所…残り少ない保育所生活、思いつき楽しんでね☆

世界遺産登録に向けて

## 福井文科副大臣が新原・奴山古墳群を視察



▲新原・奴山古墳群の説明を受ける福井文科副大臣

9月23日、福井文部科学副大臣が世界遺産暫定リストに記載されている宗像大社と新原・奴山古墳群を視察されました。福井副大臣は、宗像大社辺津宮を参拝して神宝館を見学した後、大島の宗像大社中津宮、福津市の新原・奴山古墳群を見学。「価値が高く、世界へ誇る資産だ」と感動されました。

福津市は福岡県・宗像市と共同で、来年度ユネスコへ世界遺産登録推薦書を提出する準備を進めています。これまで沖ノ島をはじめ、新原・奴山古墳群へ閣僚級が訪れたことはなく、今後の登録活動への弾みになると期待されます。

子どもたちの笑顔があふれました

## ふくつつこまつり 2013 開催!!

9月1日、子どものための祭り「ふくつつこまつり 2013」がふくとぴあで開催され、あいにくの天気にも関わらずおよそ2000人の親子連れで賑わいました。

これは、市内にある公立・私立の保育所や幼稚園が協力して開催した初めてのイベントです。

福岡教育大学の伊藤教授による科学の実験コーナーをはじめ、輪投げなどの遊びのコーナー、数珠玉アクセサリなどの工作コーナー、愛情たっぷりカレーなどを販売する食べ物コーナーなど、子どもたちはもちろん大人も一緒になって楽しんでいました。



▲屋台コーナーにはかき氷やわたあめを求める行列ができました



▲がんばって釣り上げた魚は持って帰れます



▲不思議な科学の実験に子どもたちは大はしゃぎ



▲全国大会に出場した宮澤さん(左から2番目)



▲全国から集まった猛者たちが熱戦を繰り広げました

日頃鍛えた心・技・体を競い合う

## 第24回全国都道府県中学生相撲選手権大会に出場

6月に行われた第24回全国都道府県中学生相撲選手権大会福岡県選考会で優勝した福岡中学校2年生の宮澤翔生さんが、8月4日、東京の両国国技館で行われた全国大会に出場しました。

宮澤さんが相撲を始めるようになったきっかけは、小学校2年生のとき出場した諏訪神社の相撲大会です。今は週に2回、クラブでの練習に汗を流しています。

団体戦で臨んだ今回の大会では、宮澤さん自身は1勝しながらも、チームとしては残念ながら予選敗退となりました。

宮澤さんは「今回の結果はとてつよくよかった。また全国大会に出ることが今後の目標」と語りました。

福津市女性消防班も大健闘

## 第1回福岡県女性消防操法大会に出場

9月8日、県消防学校に県内11の女性消防隊が集まり開催された「第1回福岡県女性消防操法大会」に、福津市からも女性消防班が出場しました。

操法大会は、火災消火を想定した基本的な一連の手順の早さや正確さを競うものです。

仕事、家事、育児をこなしながら、消防署員の指導のもとで5月から練習を重ねた福津市女性消防班の選手たちは、多数の来賓や応援者が見守る緊張感の中で競技を開始。強風の影響で火点と呼ばれるボールを狙って放水して落とすことに苦労するチームも多い中、大きなミスもなく、練習でも出なかったベストタイムを計測しました。

惜しくも3位以内の入賞は逃しましたが、2番員を務めた濱口百合子さん(畦町区)は最優秀2番員賞を受賞しました。

昨年発足したばかりの「福津市女性消防班」ですが、大会出場を機にさらに団結を深めることができました。



▲今回出場した福津市女性消防班の5人



▲放水して火点のボールをすばやく落とします

